

令和7年度

久喜市民文化祭

合同発表会

入場無料

会場 久喜総合文化会館 小ホール

日時 10月5日(日)

開場	11時30分
開演	12時00分
式典	13時00分
終演	16時30分

———出演団体———

- ・久喜民謡連合会
- ・久喜市舞踊協会
- ・久喜市吟詠剣詩舞連盟

主催 久喜市久喜文化団体連合・各文化団体
共催 久喜市教育委員会

問合わせ先 久喜市民文化祭合同発表会実行委員会
実行委員長 稲毛昭宏 TEL0480(58)4821

令和7年度

久喜市民文化祭プログラム

No.		曲 目	出演者	所属団体	私のつぶやき
1	民謡	出船音頭	合唱	サニ一会	北海道函館港の賑わいを曲にしました。
2		いやさか音頭 二声上げ音頭	合唱	光喜会	二曲共北海道の鯨漁の唄です。イヤサカサッサーいう景気の良いお囃子で唄います。
3		江差馬子唄	岡田敏之	雄喜会	唄っていると江差の情景が浮かびます。馬子唄なのでハイハイと言う響きを感じられる。
4		筑後酒造り唄	佐々木藤士男	竹韻会	作業唄ながら、ゆっくり力強く朗朗と唄う
5		秩父さんざ節	山本登久子	サニ一会	秩父地方に古くからの自然の風景を思いだされます。
6		北海鱈つり唄	岡本輝子	光喜会	北海道民謡。ゴゼさんが唄い出しでお互いの場所を確かめたそうです。唄い出しが難しい。
7		閑上大漁節	長谷川みよ子	雄喜会	漁師さんの大漁と無事を祈って唄います。
8		忠義ざくら	大竹米子	サニ一会	歌詞から想像すると力強く感じられます。
9		南部牛追唄	小川勝	竹韻会	今年も酷暑の中、牛追いの仕事を思いながら・・・
10	舞踊	きよしのソーラン節	坂東久三菜	久三菜会	誰でも知っているソーラン節を氷川きよさんの歌で踊ります
11		みだれ髪	金坂良子	美智京会	塩谷岬に立つ淋し気な女、恋しい辛いその想いで今日も涙をしぼる。
12		潮来情話	神谷啓子	美智京会	水の鏡で、ほつれた髪を指で束ねて面影抱いて、揺れて流れるさだめ川
13		うたかたの女	若藤京志乃	美智京会	好きといわれて抱きしめられて、しあわせ薄い夢をみた。涙に濡れてるうたかたの女
14		お梶	河藤京花	美智京会	女心をもてあそび、奈落へおとして消えた人、憎い恋しい 藤十郎
15		がまん坂	河藤美智京	美智京会	辛い涙が枯れたなら、嬉し涙が湧いてくる。超えてゆきますがまん坂
	13:00	式 典 新作漢詩「久喜八景」 作者 田中士風 発表(巻末参照)			
	式典	近江八景 大江敬香	鎌田琉光	稲吟会	我が国最大の湖、琵琶湖、四季折々の風景を楽しめる鳩(にお)の海と呼ばれ歌手の丘みどりが歌っています。
		久喜八景 田中士風	田中士風	神風流	明治の漢文の碩学大江敬香の「近江八景の図に題す」を真似て久喜の八景をいろいろ考えて作りました。
16		天草洋に泊す 頼山陽	大村照光	稲吟会	頼山陽は江戸時代の後期の漢詩人で天草洋で遠く見えるのは雲か山か又中国の呉か越かと雄大に詠んでいます。
17	詩吟	不識庵機山を撃つの に題す 頼山陽	関根秀雄	稲吟会	中学生の時、英語の先生が吟じた鞭声肅々が今だに耳から離れず今年の春から詩吟を始めました。
18		本能寺 頼山陽	長澤弘光	稲吟会	私はこの吟が大好きでよく口ずさんでいます。今日は皆様の前で、一所懸命頑張ります。聞いて下さい。
19		母を憶う 頼山陽	坂居花光	稲吟会	年を重ねても、尚、母を恋しいという気持ちは、いや増すばかり。そんな「母恋し」を吟じたい。
20		廬山の瀑布を望む 李白	木下紀幸	稲吟会	日光・華嚴の滝よりもすごい！中国の世界遺産の滝！茶道の掛け軸でも有名。私が天地の心で吟じてみたい！
21		山中の雲 真山民	枝 重光	稲吟会	那須連峰の麓で山中の雲を眺めながら夢を膨らませて育った子供時代を蘇らせる私の好きな漢詩です。

22	詩吟	黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る 李白	水野直光	稻吟会	七年前に亡くなった先輩が好んだ詩です。長江の雄大な眺めが目浮かぶ様です。友を偲んで吟じます。
23		峨眉山月歌 李白	阿部恵風	神風流	峨眉山の北に流れる平羌江の水に映る月を李白が夜船で眺めながら下る情景が心に浮かぶ私の好きな漢詩です。
24		江雪 柳宗元	土橋 悠鵬	月曜吟詠会	降りしきる雪の中大河でボツンと魚釣りをするおのれの言いようもない孤独感が良い。別の云われも有る様です。
25		春望 杜甫	奥野旭風	個人	学校でみんなが学ぶ有名な漢詩なのでしっかり吟じられるようになりたい。
26	民謡	14:00 津軽音頭	林正子	みんなよう 新星会	三味線の音色が良くて選んだが、こんなに難しい曲とは・・・何度歌っても引き込まれます。
27		シャンシャン馬道中唄	岡戸文子	サニー会	結婚すると今でも宮参りする様子を楽しく唄い上げております。
28		灘の酒造り祝い唄	新井アイ子	光喜会	作詞星野哲郎、作曲遠藤実による新民謡です。賑やかな祝い唄です。
29		筑波山唄	柿沼完詞	みんなよう 新星会	詞に惚れてこの曲を選びました。特に(仰ぐ仰ぐ日の出に艶姿ナエ・・・)景観も感じました。
30		秩父音頭	山崎幸雄	雄喜会	埼玉県の民謡、一つ位唄えないと恥ずかしいので自分のものにしたいと思います。
31		江差馬子唄	高塚美恵子	サニー会	三味線のリズムに乗り、楽しく唄いましょう。
32		南部牛追い歌	伊藤良弥	愛好会	民謡の中でも人気ある歌です。これを唄うと自分のふるさとを思い出します。
33		出船音頭	飯島淑子	光喜会	北海道民謡。明るく威勢のよい楽しい曲です。リズムに乗って唄うところが大好きです。
34		津軽じょんがら節	井手上弘子	愛好会	津軽民謡が大好きで中でも一番津軽じょんがら節が大好きで唄います。
35		14:30 北慕情	藤間芳富己	芳富己会	男女の曲で、北の岬の灯台は、恋の闇路を照らさないとあり最後にあいや節が入りととてもいい曲です。
36	舞踊	春雨情話	高柳悦子	葵美寿郎会	2年間お休みしていましたが、初心にかえて、頑張ります。一番最初に踊った思い出のある曲です。
37		田原坂	貴志信智	葵美寿郎会	田原坂は西郷隆盛と明治政府の命運を分けた地。歴史に思いを馳せて踊ります。
38		明治一代女	村上理恵子	静富士会	美空ひばりさんの歌声が私の胸にひびきうれしくて、踊れることが光栄です。
39		祝い酒	竹之内かつよ	静富士会	人生には色々苦勞の連続が有る。この歌は若い二人が愛をはぐくむ祝う歌です。
40		佐渡の恋唄	田口しのぶ	静富士会	佐渡の恋唄は荒々しい海が表現されていて日本海の厳しい風景が浮かんでくるようです。
41	民謡	15:00 喜代節	大西正晃	みんなよう 新星会	お座敷唄が好きで、一昨年のよさこい節、昨年の祇園小唄に続いて、今年は秋田に挑戦します。
42		武田節	行地 敬	サニー会	吟詠を折り込んだ新しいリズム的な曲です。
43		しげさ節	吉沢静代	雄喜会	歌集を見ていたら目に留まり、懐かしくなってまた唄ってみようかなと思いました。
44		津軽タント節	秋元才子	愛好会	津軽の唄は語り唄が多いのです。中でも宴会の席では良く唄われた唄ときいています。
45		荒城の月、てまり、花嫁人形	三味線合奏	光喜会	唱歌、童謡を三味線、尺八で演奏します。メロディの後で響くピックの音色もお聞き下さい。
46		日光山唄	島辺政秀	雄喜会	晴れた日は久喜市からも望める日光連山 何度も登った男体山の山容が素晴らしい。
47		津軽山唄	佐藤三津声	愛好会	私が一番最初に覚えた唄です。まだ18歳の頃でした。今では懐かしいです。
48	詩吟	15:30 楓橋夜泊 張継	三浦伸風	神風流	科挙に失敗し、故郷を遠く離れた地楓橋。夜の静寂の中で一人船に泊る。孤独と寂しさの心情は心に沁みます。
49		静夜詩 李白	大谷優風	稻吟会	月は、いろいろと解明されてゆく現代。せめて今宵は李白となって、月を見上げてみたい。
50		山中の月 真山民	熊谷芳光	稻吟会	山中で見る月は好きです。私の心も同じ様に澄んで清らかです、吟で表現するのは難しいですが頑張ります。

51	詩吟	夜墨水を下る 服部南郭	才木良風	稻吟会	隅田川と聞くと関東大震災の時父が飛込んで救われた事を思い出す。中国の長江に擬して思いを込めて吟じたい。
52		飲某樓 伊藤博文	中山 東風	神風流	明治維新の際、時代に応じた革命児の心意気、此の見事なまでの詞を味わいながら吟じたいです。
53		松竹梅 松口月城	大谷晴光	稻吟会	「一句千吟」一つの詩を千回吟じなさい、が先生の教えです。詩吟は深くて遠い道ですね。
54		後夜仏法僧鳥を聞く 空海	竹田喜光	稻吟会	詩吟教本2の巻頭に「詩吟の吟じ方」が書いてあり、これを繰返し詠んで少しでも上達出来るよう吟じています。
55		春夜 蘇軾	金子文光	稻吟会	花に清香 月に影 春の宵は値千金観劇も終わり静かに夜の帳が落ちて行く春夜を詠んだ最高漢詩を吟で伝えたい。
56		九月十日 菅原道真	荒井和光	稻吟会	10年以上過ぎやと作者の心の内を感じながら吟ずるようになった。菅原道真の都を思う侘しい詩吟です。
57	16:00	人生一路	齊藤孝子	友栄会	人生観そのものを感じさせる曲でその芯の強さを堂々と表現したい。又皆様への感謝を込め踊ります。
58	舞踊	序の舞恋歌	中村恵郷	友栄会	恋のはじまりの余韻と、秘めた想いが交錯する曲で、皆様の心にもそっと届くよう踊ります。
59		川	青木忠孝	友栄会	北島三郎の「川」は人生、運命の流れを象徴する曲で、深い情念と覚悟を持って表現したい。
60	16:20	桜花の詞 逸名	関根艸光	稻吟会	私は桜花を愛し、桜花との出会いを喜び、そして悲しく別れます。この詞に、私は深く感動しています。
61	詩吟	老木桜 一茶	稲毛昭光	稻吟会	一茶の詩には魅せられます。よし枯れるまで花を咲かせろぞ（生きてる限り）と言う気が湧いてきます。

* 各団体の開始時間は目安です。前後ずれることがありますのでご了承ください。

【通釈】
足利公方氏政公の別邸である甘棠院で突く夕方の鐘の音は、茜雲の空に響いてゆき、おなじ茜雲の空を飛ぶ菖蒲の落雁は、隊列を組んで東に向かって飛んでゆく。
坂東太郎の異名を持つ利根川の滔々たる流れは、遠くの水源の日光連山を借景にしており、河原井沼（現在の昭和沼）の広々とした風景は、静かにたたずんでいる。
菖蒲の香豊かな熏衣草の花と、清久の桜堤は香りがふくよかで、人をうつとりさせる。
武蔵国最古の鷲宮神社の催馬神楽と源義経の愛妾静御前の墓は、神への敬いと戦乱に明け暮れた遠い昔を思い起こさせ、久喜在住の人達に、この地の清らかな発展を促すものだ。

【本文】
久喜八景
公方晩鐘入茜雲 菖蒲落雁向東方
利根滔流映借景 河原井落日静謐
熏衣草花清久桜 花香馥郁醉人心
大社神楽静御墓 久喜史心永久清

久喜八景
公方晩鐘入茜雲 菖蒲落雁向東方
利根滔流映借景 河原井落日静謐
熏衣草の花 清久の桜 花香馥郁として人の心を酔わしむ
大社の神楽 静の御墓 久喜の史心 永久に清し

くき はつけい
くほう ばんしょう せんうん 田中 土風
公方の晩鐘 茜雲に入り 菖蒲の落雁 東方に向う
とね どうりゅう しゃつけい は かわらい らくじつ せいひつ
利根の滔流 借景に映え 河原井の落日 静謐なり
ラベンダー ほな きよく さくら かこうふくい ひと こころ よ
熏衣草の花 清久の桜 花香馥郁として人の心を酔わしむ
たいしゃ かぐら しずか みはか くき ししん とこしなえ きよ
大社の神楽 静の御墓 久喜の史心 永久に清し

